

1. 科目名 (単位数)	東アジアの中の日本文化 (2単位)	3. 科目番号	EIJ2381
2. 授業担当教員	野口 生也		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「履修要項」及び「授業時間割表」要確認		
7. 講義概要	<p>従来、日本の文化はアメリカやヨーロッパと比較され、その差異に目を向けられることが多かった。一方、東アジア諸国と日本は、古くからの交流の歴史において、人々の移動やそれにもなう文化の影響など、相互的共通性を有しているものの、一様というわけではない。</p> <p>本講義では、中国や韓国を中心とした東アジア諸国と日本の文化について、比較したり文化的特徴を見出したりしていく。日本文化や日本人の文化的行動との共通性や類似性ととも、日本との関係性や欧米との対比では見過ごされてしまいがちな差異などについて扱っていく。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 日本文化について、改めて考え理解を深めることができるようになる。</p> <p>2. 東アジア諸国と日本の関係について理解することができるようになる。</p> <p>3. 東アジアの文化について、共通性ととも差異性など多面的にとらえることができるようになる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 学習課題の事前学習と事後学習を行うこと。</p> <p>2. 授業内課題は授業の終わりに提出すること。</p> <p>3. 発表の ppt ファイルを第 1 2 回授業日までに提出すること (発表とともに評価方法「3. 試験・レポート」として評価)。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】授業時に指示する。</p> <p>【教材】随時、最近の研究論文を資料として配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 (学習目標)</p> <p>1. 日本文化について、改めて考え理解を深めることができたか。</p> <p>2. 東アジア諸国と日本の関係について理解することができたか。</p> <p>3. 東アジアの文化について、共通性ととも差異性など多面的にとらえることができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合的に評価する。</p> <p>1. 授業態度 総合点の 30% : 積極的な参加、課題の提出状況などにより評価。</p> <p>2. グループ・ワーク 総合点の 30% : 共同作業での発言、役割貢献などにより評価。</p> <p>3. 試験・レポート 総合点の 40% : 基礎知識の理解、自身の意見の表出の程度により評価。</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	分からないことや共有したいことがあれば、積極的に発言しましょう。ペアやグループでの活動では、お互いを尊重し、協力しましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 比較文化学的な視点と「越境と交流」の視点について	事前学習	シラバスと資料を読み、扱う内容について把握する。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 2 回	東アジア文化と日本文化、東アジアにおける日本文化	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 3 回	中華圏における日本文化① : 大衆文化	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 4 回	中華圏における日本文化② : ビジネス	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 5 回	中華圏における日本文化③ : 災害援助	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 6 回	中華圏における日本文化④ : 文化財保護	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 7 回	韓国における日本文化⑤ : 言語	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。

第 8 回	韓国における日本文化②：大衆文化	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 9 回	韓国における日本文化③：ビジネス	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。
第 10 回	韓国における日本文化④：宗教 ※発表テーマ決定	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表を準備する。
第 11 回	その他の国・地域における事例①：大衆文化、ビジネス	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表を準備する。
第 12 回	その他の国・地域における事例②：言語、宗教 ※発表 ppt ファイル提出	事前学習	資料を読み、難しい用語の意味を調べる。
		事後学習	資料を読み返し、重要点を整理する。発表のリハーサルをする。
第 13 回	発表と質疑応答 ( 1 )	事前学習	発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点や質疑応答の内容を整理する。
第 14 回	発表と質疑応答 ( 2 ) 総合ディスカッション	事前学習	発表の最終リハーサルをする。
		事後学習	発表後の反省点、質疑応答、ディスカッションの内容を整理する。
第 15 回	授業全体の総括および提出物確認	事前学習	これまでの授業内容を振り返る。
		事後学習	卒業までの研究計画を立てる。